

特別支援学校高等部生徒の
キャリア教育・職業教育を
推進します

青森県特別支援学校技能検定・発表会

期日 令和4年10月20日(木)

会場 新青森県総合運動公園マエダアリーナ

今年度は、感染対策を施しながら、3年振りに一堂に会し有観客で開催する予定です。(PC入力分野のみ、各学校での事前実施)

大会はどなたでも見学できます！高等部生徒が真剣に取り組む様子をぜひご覧ください。

※今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、無観客での開催や大会を中止とする場合があります。詳しくは、大会事務局Webページをご確認ください。

青森県特別支援学校技能検定・発表会は、県内の特別支援学校高等部の生徒が授業で身に付けた技能を評価する職業技能部門と、生徒が思いや願いを表現するコミュニケーション部門の2部門6分野で実施しており、例年270名以上の生徒が検定・発表に参加しています。「特別支援学校就職サポート隊あおもり」のサポーター企業等のご理解とご協力の下、平成27年度のプレ大会を含め、今年度で7回目の開催となります。

職業技能部門

※昨年度の様子



清掃分野 (応用コース・基礎コース)



接客サービス分野



PC入力分野

清掃分野と接客サービス分野は2年続けての中止となり、各校で校内の大会等を実施しました。今年度はマエダアリーナで実施しますのでぜひご覧ください。

※PC入力分野は今年度も各学校での事前実施となります。

コミュニケーション部門

※昨年度の様子



プレゼンテーション発表分野



ポスター発表分野

コミュニケーション部門の3分野は、発表者の学校と審査員のいる学校とをオンラインで繋ぎ、発表と質疑応答をしました。

今年度は、マエダアリーナで発表を行います。生徒の研究発表やダイナミックなパフォーマンス等をぜひご覧ください。



パフォーマンス発表分野

大会の開催案内・当日の様子及び各分野の指導マニュアル・評価票は、大会事務局校(県立青森第一高等養護学校)のWebページに順次掲載されます。



★「特別支援学校就職サポート隊あおもり」

県教育委員会では、障害のある生徒の働く力の育成や就職促進のための体制整備等を目指し、職場見学や就業体験等に協力していただける企業を登録しています。



問合せ先 学校教育課 特別支援教育推進室 TEL 017-734-9882

あおもり教育研究発表会2022「未来につなぐ青森の教育」

青森県総合学校教育センターの研究発表や、特色ある実践を重ねている県内の学校の発表等により、教育に関心を持つ方々と情報を共有し、本県教育の充実へつなげます。多くの方のご参加をお待ちしています！

日時 11月18日(金) 9:30~15:50

場所 青森県総合学校教育センター

内容

①センター研究発表「ICTの活用について」

- 国語 ●理科、物理、化学、生物、地学 ●音楽、図画工作、美術
- 外国語 ●家庭、技術・家庭 ●体育、保健体育

②センター2年目研究員研究発表

発表者：三浦健太郎、花田耕平、佐々木明子、工藤 敦、高田秀行、若杉知明、下山 翔、山口 星

③ICT活用実践発表

発表者：つがる市立森田小学校 教諭 前多 昌顕氏

④ICT活用に関する講演

講師：放送大学 教授 中川 一史氏

演題：「GIGAスクールと子どもの学びの現状と展望」

●申込方法/センターWebページの申込みフォーム

●申込締切/11月11日(金)まで

●対象/県内教職員、教育関係者、大学生、教育に関心のある方

●参加費/無料

〈昨年度参加者の感想〉

- それぞれの先生方の実践例を聴いて、ICTの在り方について考えさせられました。
- 学校教育の中で、教師側が何を目的としてICTを活用するのが大切だと感じました。
- 使用方法だけでなく、管理の仕方、情報モラルなども同時に指導していかなければならないと感じました。
- 生徒に直接接する現場の教師のために、さまざまなアプローチを考えながら研究に取り組んでいた、非常にありがたいと思いました。

〈展示もあります！〉

- 特別支援教育教材・教具展示会
- 2年目研究員の研究紹介
- 図書資料室にある書籍等の紹介
- センター研究紹介

青森県総合学校教育センターは、子どもたちの未来を創るため、所員の心と力を結集して、学校を支援します！



青森県総合学校教育センター イメージキャラクター「アプセくん」



詳しい情報・お申し込みはこちらから▶



問合せ先 青森県総合学校教育センター 教育相談課 TEL 017-764-1990

〈広告〉県では、財源確保などのため広告を掲載しています。なお、掲載する広告は、青森県が推奨するものではなく、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金

ひとりひとりの小さなお金。
そのお金に「誰かの助けになりたい」という
気持ちがこもって十人、百人、千人と集まれば、
大きな力に変わります。
赤い羽根は、小さなことをしています。
小さな活動をたくさん、何十年と続けています。
つまり、赤い羽根は、大きなことをしています。



支え合う人たちがいる